

# 岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金専門部会資料

## 資料目次

### 意見要旨

- ①労働者側意見要旨
- ②使用者側意見要旨

## 「岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金」の改正決定にかかる意見

「岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金」の改正決定にかかる調査審議において、以下のとおり意見を述べます。

### 1 団体又は事業所の名称等

- ・三菱自動車工業労働組合 水島支部

### 2 本年の春闘結果及び賃金動向

- ・今年の春季生活闘争は、33年ぶりの5%台の賃上げ結果となった。最低賃金の大幅な引上げを通じ、今年の歴史的な賃上げの流れを社会全体に広げていくことが必要である。一方で昨年来、消費者物価上昇率の「総合」は、2%台後半の伸びが続いている。個人消費を増やし地域経済を成長させる好循環を実現するためには、来年以降も賃上げの流れを持続させることが求められる。

### 3 上記産業別最低賃金が適用される業種の経済情勢及び今後の見通し

- ・特定最低賃金と地域別最低賃金は、対象者、役割・機能ともに異なる制度であり、地域別最低賃金が大幅に引き上げられても、特定最低賃金の代わりを果たすことはできない。自動車産業にふさわしい水準に引き上げるべきである。

### 4 その他の特記事項（雇用情勢等）

- ・自動車産業では、人材の確保・定着が、産業・企業の存続を揺るがしかねない重要課題となっている。特定最低賃金の金額改正によって、バリューチェーンを支える中小企業を含めた自動車産業全体の賃金の底上げを図り、自動車産業で働く魅力を高めることが求められている。

### 5 改正決定に関する意見

- ・自動車産業において人材の確保・流出防止が喫緊の課題となっていることから、産業の生み出している付加価値、または仕事の質・内容に相応しい水準の特定最低賃金を確立しなければならない。アルバイトなどの募集賃金に代表される地域別最低賃金と同程度の水準では、自動車及び部品の製造、自動車の販売・サービス、自動車整備等といった高付加価値業務を担う人材の確保もままならず、将来にわたる自動車産業の競争力の源泉を失いかねない。その競争力の源泉は、自動車産業が生み出し続けている「高い付加価値生産性」にあり、それに見合った特定最低賃金を設定しなければ、公正な競争環境が確保できないことのみならず、自らが生み出している高い付加価値をも棄損させることに繋がりがかねない。

「岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金」の改正決定にかかる意見  
「岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金」の改正決定にかかる調査審議において、以下のとおり意見を述べます。

1 団体又は事業所の名称等

- ・自動車総連（三菱自動車ふそう労連）
- ・水菱プラスチック労組

2 本年の春闘結果及び賃金動向

- ・三菱自動車ふそう労連は日々懸命に努力している組合員の不断の努力に報いるとともに、組合員のさらなる成長に向けた「人への投資」を求めることに加え、物価上昇による実質賃金の低下から労働の価値を守ることを意識し、組合員とそのご家族も含めた「生活の安定」を目指し取り組みを進めることとした。

その結果、83 組合で賃金改善を要求し、71 組合で改善分を獲得できたことは一定の成果と受け止める。一方で、物価が高止まりしている中でも賃金改善を獲得できなかった組合もあり、取り巻く環境は依然厳しい。

3 上記産業別最低賃金が適用される業種の経済情勢及び今後の見通し

- ・半導体や船腹不足に伴う生産への影響は概ね解消され、正常化に向かっている。世界的なカーボンニュートラルを目指す動きは加速することが予想され、自動車産業においても電動化や次世代燃料への置き換えなど柔軟に対応していくことが求められる。変革にも対応しつつ、目下の生産、販売台数の変動にも注視していく必要がある。

4 その他の特記事項（雇用情勢等）

- ・メーカー、車体部品、販売、輸送の区別なく、自動車産業における人財不足は深刻であり、今後も賃金改善を図りながら自動車産業の魅力を高め、人財確保に繋げることは極めて重要であり、最優先で取り組むべき課題と考える。
- ・最低賃金近傍で働く労働者の生活改善、意欲向上を図るためにも賃金改正は必要である。

5 改正決定に関する意見

- ・自動車・同附属品製造業は岡山県における最大の産業であり、特に裾野が広く地域経済に与える影響は大きいと考えるが、最低賃金の水準は他産業と比較しても優位ではない。慢性的な人手不足に陥っている現状や、非正規労働者の増加などに鑑みると賃金設定の重要度は高くなっている。
- ・今後の自動車産業における変革に柔軟に対応するためにも優秀な人財確保は必須である。さらには基幹産業としての優位性を確立するためにも賃金改定は必須と考える。
- ・自動車産業は高度な技術や難易度の高い業務の遂行が求められる業種である。そこで働く労働者への金銭的優位性は十分考慮すべきであり、敷いては産業の魅力向上にも繋がるものとする。

# 意見書

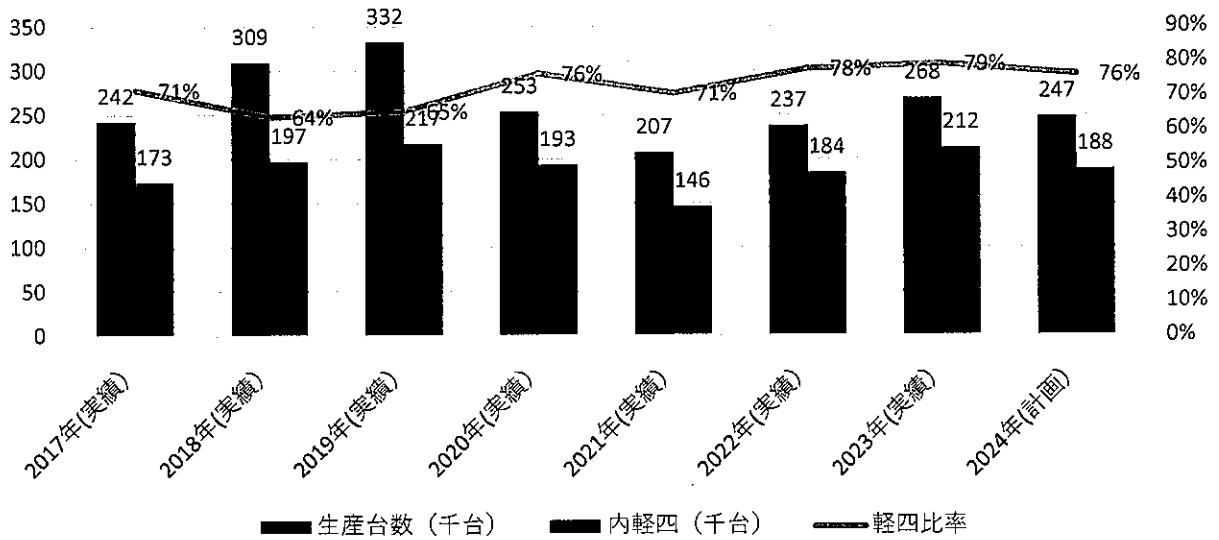
岡山口ボケアセンター株式会社

代表取締役 向谷 隆

部会名	自動車・同付属品製造業				
過年度最低賃金	令和元年度 921円	令和2年度 921円	令和3年度 936円	令和4年 956円	令和5年度 991円

【生産の状況】

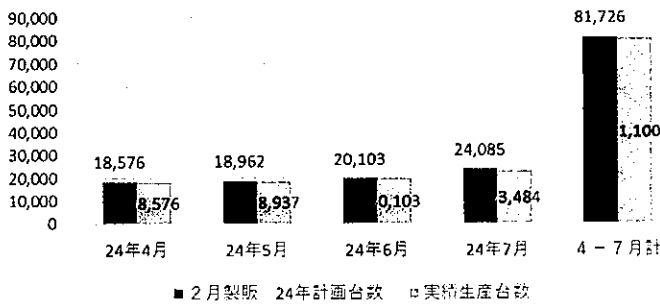
MMC 水島製作所の生産状況



年度ごとの水島製作所の生産状況を見ると、今年度 2024 年の生産計画は 2019 年の 74% 対前年では 92% の計画となっています

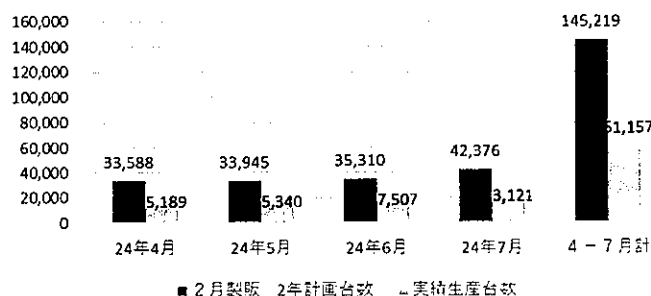
今年度の 4～7 月までの実績ではほぼ計画通りとなっています。

水島製作所 24年4～7月の状況



三菱自動車全体としても 4～7 月の実績は計画に対して 104% で推移しています。

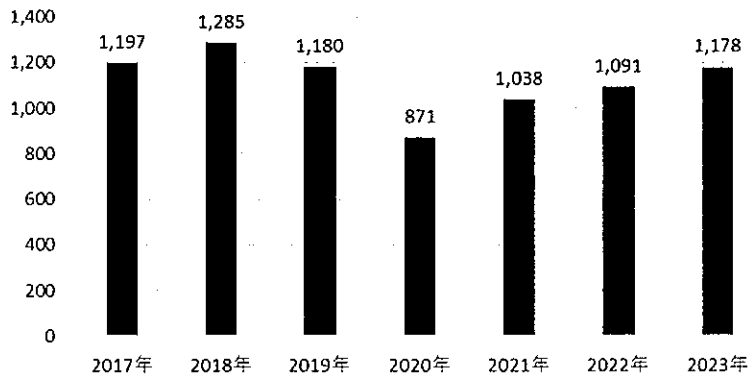
三菱自動車全体 24年4～7月



業界の状況

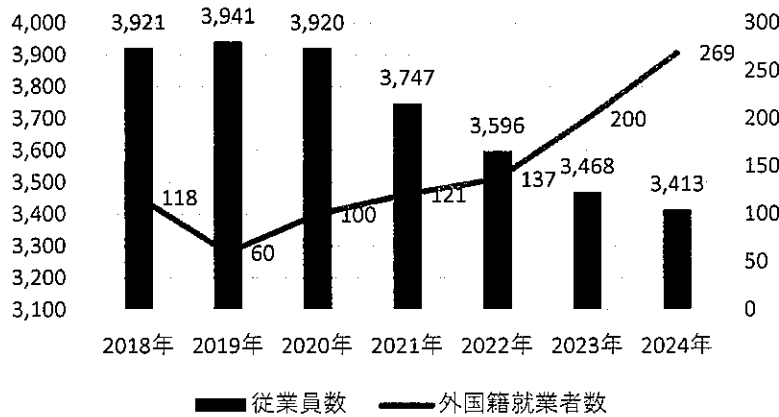
【経営数値資料】 出典 ウイングバレイより入手

売上高（億円）



ウイングバレイ 11 社の売上高は近年では 2018 年には 1285 億円の売上がありましたが、2023 年は 1178 億円となっています。コロナ、半導体不足の影響から立ち直りつつあります。

従業員数 外国籍就業者



雇用人数は、2019 年の 3941 名に対し、2024 年は 3413 名と 13%減少しています。反面、外国人国籍従業員は 2022 年 137 名が 2024 年には 269 名になるなど増加傾向にあります。

この水島地区の自動車部品産業は、利益構造の変革の過渡期にあり、今後の大きな自動車産業の変化、電気自動車や IT 搭載車による自動運転、海外新興自動車メーカーの台頭などへの対応準備へ、研究開発資金の確保が必要となってきます。。

【最低賃金についての使用者側よりの意見】

ウイングバレイ 11 社は売上規模、納入先、財務体質も違い、2023 年度の春闘においても対応が大きく異なりました。この度の県最低賃金の対前年 +50 円に習い、本部会が昨年の 991 円からプラス 50 円を決定した場合、高卒初任給の時間あたり賃金が下回る結果となる会社も存在します。人財を引き寄せる、魅力のある自動車産業でありたいと考え、各社 SDG's や働き方改革に努めています。体力を超えた労務費の増加は財務体質を弱め、働く場所の消失にもつながりかねません。この度の最低賃金の上昇トレンドは、国の政策を反映したものと理解すべきで、本部会では慎重な判断を求めます。